

林業ぐんま



目次

林政情報.....	1
・令和6年度 群馬県森林・林業関係施策及び 当初予算の概要	
・山火事予防にご協力ください！	
・令和6年度 春の緑化関連行事予定 各地の便り.....	5
(渋川) 能力評価制度の導入に向けて (西部) オルソ画像で 造林検査にチャレンジ!!	
(藤岡) アロマを活用した 神流杉・神流檜PRの取組	
(富岡) 菌床しいたけ生産施設の空調管理 (吾妻) 第76回 群馬県植樹祭 (利根沼田) 高校生と挑む森林ビジネス (桐生) 現場安全パトロール 地域を担う人.....	10
栗原 遼さん 近藤 顕大さん 西川剛太郎さん	
森の談話室.....	11
有限会社植原愛林 取締役 堀川正一郎さん	
林業試験場から 防鹿柵の管理手法	
トビックス.....	13
令和5年度ぐんま林業就業支援研修 (冬コース) を開催しました 群馬県緑化推進委員会より.....	14

春

2024

「林業ぐんま」はホームページでもご覧になれます
<https://gun-fukyu.jimdofree.com/>

群馬県林業改良普及協会

林政情報

環境森林部(森林関係) 令和6年度当初予算の状況

1 所属別予算額

(単位:千円)

所属名	R06当初 予算額	R05当初 予算額	増減	前年比
林政課	5,968,306	6,395,071	△ 426,765	93.3%
林業試験場	179,877	176,556	3,321	101.9%
林業振興課	1,393,085	1,199,842	193,243	116.1%
森林保全課	6,650,117	6,692,834	△ 42,717	99.4%
計	14,191,385	14,464,303	△ 272,918	98.1%

2 公共事業

(単位:千円)

区分	R06当初 予算額	R05当初 予算額	増減	前年比
補助公共	7,490,000	7,490,000	0	100.0%
林道	930,000	930,000	0	100.0%
作業道	590,000	590,000	0	100.0%
治山	4,630,000	4,630,000	0	100.0%
造林	1,091,000	1,091,000	0	100.0%
災害復旧	249,000	249,000	0	100.0%
単独公共	2,480,000	2,480,000	0	100.0%
林道	290,000	290,000	0	100.0%
作業道	250,000	250,000	0	100.0%
治山	1,826,000	1,836,000	△ 10,000	99.5%
造林	60,000	60,000	0	100.0%
水源林等整備推進	54,000	44,000	10,000	122.7%
公共事業合計	9,970,000	9,970,000	0	100.0%

令和6年度
群馬県森林・林業関係施策及び当初予算の概要

群馬県では、令和3年3月に「群馬県森林・林業基本計画2021-2030」を策定しました。この計画では、大胆な構造改革と産業基盤の強化によりコスト縮減と収益性の向上を図り、自立した林業・木材産業の実現を目指すこととしています。

また、「森林資源を持続的で効率的に活用する『関東一の林業県』に向けて、需要創出と生産体制構築を両輪とする林業改革」に取組むこととし、具体的には「非住宅建築物の木材利用の拡大」、「大型製材工場の誘致により、新たな産業構造を構築」、「県産木材製品を全国に展開」、「林業収支をプラスにする『新しい林業』に投資を呼び込む」、「木質バイオマスの需要を拡大」の5つの政策に基づき、林業改革を推進することとしています。

◎令和6年度当初予算の概要について

群馬県森林・林業基本計画の4年目となる令和6年度の森林・林業関係の県予算は、既存事業の見直しと新規事業の創設を併せて行い、総額141億9139万円となりました。

前年度比98.1%となっており、

各所属で増減がありますが、林政課における減少は十年に一度の森林・緑整備基金の長期貸付金、林業振興課における増加は、林業・木材産業構造改革事業補助金によるものです。

公共事業については、治山事業が令和5年度に対して1億円の減額、そのほかの事業については前年度比100・0%となり、こちらも前年度並み（前年度比100・0%）の予算規模となりました。

◎令和6年度の主な事業について

【花粉症発生源対策】

令和5年5月30日「花粉症に関する関係閣僚会議決定」により、「花粉症対策の三本柱として、「発生源対策」、「飛散対策」、「発症・曝露対策」の全体像が示されました。

森林分野では、主として発生源対策を担い、十年後にはスギ人工林を約2割減少させることを目指し、「スギ人工林の伐採・植替え等の加速化」、「スギ材の需要対策」、「花粉の少ない苗木の生産拡大」、「林業の生産性の向上及び労働力の確保」に取り組むこととしていきます。

また、花粉発生源であるスギ人工林の伐採・植替えを効果的・集中的に実施するため、全国のスギ人工林の約2割が対象となるよう

「スギ人工林伐採重点区域」を都道府県が設定することとされ、本県においても左表の市町村を重点区域に設定しました。

引き続き、皆伐・再造林の推進により、スギ人工林の伐採・植替え等を加速化するとともに、重点区域内においては、国庫補助事業の新たなメニューとして加えられた「林相転換特別対策(特定スギ人工林)」の活用により、伐採から造林までの一貫作業について支援します。

なお、花粉の少ない苗木の生産拡大については、本県では他県に先駆けて少花粉苗木の生産に取り組んでおり、平成二十一年度から県内で生産されているスギ苗木は全てが少花粉苗木となっています。

市町村名
館林市、伊勢崎市、太田市、千代田町、前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、中之条町、長野原町、嬭恋村、高山村、東吾妻町、みなかみ町、川場村、昭和村、片品村
【区域面積：14,129ha】

【ぐんまゼロ宣言住宅促進】

「ぐんま5つのゼロ宣言」の目標の一つである「温室効果ガス排出量ゼロ」と県産木材

の需要拡大を実現するため、県産木材を使用した省エネ・創エネ性能の高い住宅の建設を推進する住宅供給業者等のグループを支援します。令和6年度は、住宅供給者の増加を図るため、グループ化の要件を緩和するとともに、事業の認知度向上に向け、事業者と県民に対して情報発信を行うことにより、本事業の利用推進を図ります。

【災害レジリエンス】

「自然災害による死者ゼロ」や、群馬県森林・林業基本計画の基本方針である「森林の強靱化」の実現に向けて、自然災害から県民の生命、財産や公共施設等を守るために必要な治山対策や路網整備などの防災減災対策を実施します。

【ぐんま林業担い手対策】

林業従事者の技術・技能の向上を図り、より安全かつ効率的な現場作業を行うため、新たに個別指導による講師派遣型の研修を実施することにより、現場の要望に応じたきめ細やかな指導を行います。また、OJT指導者や班長等を対象として、講師としての資質を向上するための研修（コーチング研修）も実施します。

林政情報

**山火事予防にご協力ください！
「忘れない山の恵みと火の始末」**

3月1日～5月31日は県山火事予防運動
実施期間です

山火事は、1月に入ると発生が増える傾向があり、例年、5月頃にかけて多発しています。

このこと背景としては、冬～初夏にかけての時は、

- ・ 空気の乾燥や強風など、火災が発生しやすい（燃え広がりやすい）気象条件となることが多いこと

- ・ 林地やその周辺には、堆積した枯れ葉や枯れた下草など、燃えやすいものが多いこと

- ・ 行楽や、野外での作業に適したシーズンとなり、山林への人の出入りや、野外で火を使う機会が増えること
- ・ などが考えられます。

そのため県では、3月1日～5月31日を県山火事予防運動実施期間とし、予防対策に重点的に取り組んでいます。

令和5年の山火事発生件数は17件、被害を受けた森林面積は2.44haとなっており、昨年と比べて件数は減少しましたが、面積は増加し

ました。（林政課調べ）

山火事は消火が難しい場合も多いため、ひとたび発生すると、非常に大きな被害をもたらす恐れがあります。

焼けてしまった森林を再生し、災害を防止するなどの公益的機能を回復させるまでには、多くの費用と長い時間が必要になります。

山火事を防ぐには

山火事の出火原因は、人為的なものがほとんどです。特に、家の庭や田畑の周りでのたき火やたばこが原因となり山林に燃え広がる事例などが、依然として多くなっています。

ちょっとした不注意による「小さな火」から起こる火災を減らし、県民共有の財産である森林を守るため、特に次のようなことに気をつけましょう。

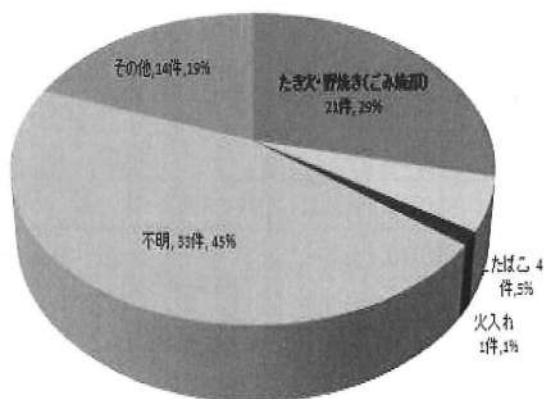
- ・ 枯れ草等の近くなど、周囲に燃え広がる恐れのある場所でたき火等をしない
- ・ 乾燥注意報の発令時や風の強い時は火の取扱に特に注意し、たき火等をしない
- ・ 火気の使用中はその場を離れず、使用後は確実に消火する
- ・ たばこの吸い殻、使用後の炭や焼却灰などは、必ず消火確認し、適切に処分する
- ・ 火遊びはしない、させない
- ・ 近所のかたのたき火を見たら注意喚起の声かけをお願いします

もしも山火事を発見したら・・・

燃え広がった火事を無理に消そうとするのは大変危険です。すみやかに119番通報し、安全な場所に避難しましょう。

・ 群馬県林政課 森林整備係
電話 027-226-3221（直通）

令和元年～令和5年
林野火災発生原因(計73件)



令和6年度 春の緑化関連行事予定

令和6年3月29日現在

市町村名	実施日	行事の名称(☆は苗木配布会を予定)	実施場所
前橋市	3月30日～4月14日 4月27～28日 5月3日 5月12日 5月下旬 5月11日～6月2日	赤城南面千本桜まつり ☆須賀の園藤まつり ☆「みどりの日」記念 苗木配布会 ☆苗木配布会(参道松並木クリーン作戦) ☆苗木配布会(新緑&つつじウィーク) バラ園まつり	みやぎ千本桜の森 須賀の園 前橋市中央商店街(中央イベント広場) 赤城神社参道松並木 赤城山頂あかぎ広場 敷島公園門倉テクノばら園
伊勢崎市	4月13・14日/ 5月11・12日 4月27日 5月3日	第12回オープンガーデンいせさき 緑の募金推進中央キャンペーン ☆グリーンフェスタ2024	市内個人宅 スマーク伊勢崎 華蔵寺公園
渋川市	4月29日 5月3日	☆苗木配布会(小野上温泉まつり) ☆苗木配布会(子持山山開き)	小野上温泉センター 子持山若人の道駐車場
玉村町	5月26日	☆苗木配布会 (玉村町クリーンセンター見学会)	玉村町クリーンセンター
吉岡町	4月未定	吉岡町漆原しだれ桜祭り	道の駅よしおか温泉
高崎市	4月21日 4月29日 5月25～26日	☆花水木まつり ☆たかさきスプリングフェスティバル緑花祭 誕生記念樹木贈呈	群馬銀行新町支店駐車場 群馬音楽センター前広場 高崎市役所南側ピロティ
安中市	5月11日	☆苗木配布会(第50回安政遠足 マラソンフェスタ大江戸inあんなか)	安中市文化センター
藤岡市	5月10日	☆苗木配布会	藤岡市役所
上野村	5月上旬(予定)	☆苗木配布会	上野村道の駅(予定)
神流町	5月5日	☆苗木配布会	鯉のぼり祭り会場
富岡市	5月12日	☆苗木配布会(わくわくフェスティバル)	富岡小学校
南牧村	5月3日	☆苗木配布会	道の駅オアシスなんもく
下仁田町	4月28日	☆苗木配布会	道の駅しもにた
中之条町	4月27日	☆苗木配布会	中之条ガーデンズ
長野原町	4月27～29日(1日)	☆苗木配布会	道の駅八ッ場ふるさと館
嬬恋村	4月29日	☆苗木配布会	三原地内(安市会場)
東吾妻町	4月13日	☆苗木配布会	東吾妻町役場跡地
沼田市	4月7日(予定)	☆沼田公園さくらまつり	沼田公園
昭和村	4月20日 4月中旬	結婚記念植樹 ☆苗木配布会	結婚の森 道の駅「あぐりーむ昭和」
桐生市	4月6～21日 4月7日 4月13～14日	第60回吾妻公園チューリップまつり ☆第31回新里こどもフェスタ(桜まつり) ☆第86回市民植木市	桐生市吾妻公園 新里サッカー場 桐生市役所構内駐車場
太田市	5月下旬	☆誕生記念樹配布会	市役所本庁舎駐車場(予定)
館林市	4月20日～5月12日 5月3日	花と緑のフェスティバル2024(飾花) 花と緑のフェスティバル2024(緑化啓発事業)	館林駅～館林市役所周辺、茂林寺等 館林市役所周辺(陽だまりの広場)
邑楽町	4月12日 5月21日 5月25日(予定)	森林楽習講座第1回 森林楽習講座第2回 ☆緑化苗木無料配布会	県立森林公園おうらの森 県立森林公園おうらの森 邑楽町役場

*23市町村39回

*☆は苗木配布会を予定

*第77回群馬県植樹祭は6月29日に片品村で開催予定

の便り

能力評価制度の導入に向けて

赤城南麓森林組合が、一般社団法人全国林業改良普及協会（以下、全林協）から、能力評価制度の構築を支援するコンサルティングを受けました。全林協の調べによると、全国で約150の林業経営体が能力評価制度を導入しています。「能力評価」と聞くと、「適正に評価されるのか?」、「一緒に働く従業員を評価するのは抵抗感がある。」等と感じる方もいるのではないのでしょうか。また、能力評価制度を運用している林業経営体では、「評価にバラツキが多く処遇に反映できない。」などの課題を抱えています。では、なぜ赤城南麓森林組合は能力評価制度を導入してみようと考えたのでしょうか? 参事の塚越里美さんに聞いてみました。「定着率の安定や職場のよ



参事 塚越里美氏

り良好なコミュニケーションづくりに役立つのでは」との思いからでした。作業班副班長の町田さんにはコンサルティングを受けた感想を聞いてみました。「管理職と話すことができ、皆の不満が洗い出され、これが流れになって、改善の歯車が回りだした。最初は身構えていたが、内容がわかると、お互いの能力を向上させるための制度で、自分が何をすればよいのかがわかった。」とのことでした。全林協のコンサルティング（全5回、6ヶ月間）の費用は55万円「税込み」ですが、県の「森林整備担い手対策事業を活用すると、最大25万円の補助金が交付され、30万円の負担でコンサルティングを受けることができます。詳しくは林業振興課経営強化係までお問い合わせください。

（洪川森林事務所通信員）



副班長 町田博氏

オルソ画像で造林検査にチャレンジ!!

令和五年九月、ドローンで撮影したオルソ画像による造林補助事業の申請を受け、当事務所初となる「新しい造林検査」にチャレンジしました。

申請者の烏川流域森林組合は今年度、ドローンの操作から補助申請書類作成までを検証する林業振興課主催の実証事業に参加してスキルを磨きました。

申請があつたのは高崎市内の二箇所の皆伐再造林地です。申請書類として提出されたのは、オルソフォト、外周・表定点等のSHPデータ、写真データで、これにより従来提出していた施業図、測量野帳の提出が省略されました。

事務所では、提出されたオルソ画像をGISソフト上で閲覧し、施業地の位置、施業境界、作業道の延長などを確認しました。座標で管理されているので位置確認などは大変分かりやすく、比較的容易にできました。

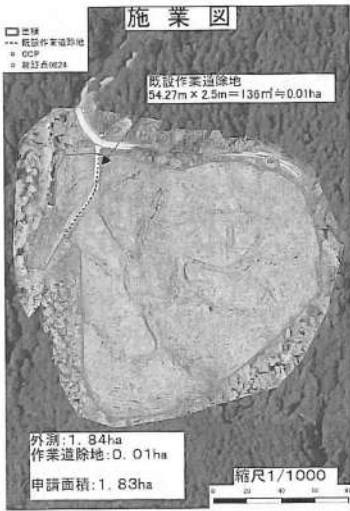
一方難しかったのは、外周線の位置が適正であるかの確認作業です。オルソ画像だけでは周囲の残存木の樹冠と外周線の位置関係が不明瞭な箇所があり、机上では確定することができませんでした。

また、苗木の植栽位置や活着状況も確認す

ることが難しかったため、最終的には現地確認を行い、外周線の修正と苗木の状況確認を行いました。

今後の課題として、申請者側では、①ドローン撮影技術がデータの正確性に大きな差がでること。②苗木にテープを巻くなど撮影の事前準備が必要なこと。③画像解析には、高スペックのパソコンやソフトが必要であること、などが挙げられました。

検査をする県側では、①提出されたデータの容量が大きく、読み込みに相当の時間を要すること。②GISソフトを使用するスキルが必要なこと。③現地確認しなければならない検査項目も残ること、などが挙げられます。今後はデータをクラウド上で共有するなど、申請者と県の双方が効率良く作業できる仕組みについて検討するなど、林業DX化・スマート林業の導入による省力化・省コスト化を目指します。



オルソ画像で作成した作業図

(西部環境森林事務所通信員)

アロマを活用した 神流杉・神流檜PRの取組

神流町では昨年三月に「スギの葉でアロマセラピーデモ体験会」を開催（2023春号掲載）して以降、香り袋の設置、配布などによるアロマを活用した神流杉・神流檜のPR活動に積極的に取り組んでいます。

八月二十五日から県庁県民センターで開催された林業振興課の企画展示への参加を皮切りに八月三十一日から九月十二日まで東京のMOCTION（国産木材の魅力発信拠点…新宿パークタワー内）への展示、九月十日、十一日にGメッセで開催されたくらしのしるし2023 JOURNEY in GUNMAでの森林組合連合会ブースへの出展、十月二十八日、二十九日の育英大学桔梗祭への出展、一月十一日、十二日に東京ビッグサイトで開催されたWOODコレクション（モクコレ）への出展、一月十

四日のららん藤岡でのかなな・かぶらぐるぶらの旅みちえきマルシェへの出展など多くの企画、イベントに参加し神流杉、神流檜をPRしています。「持ち歩く神流の森」をキャッチ



神流杉・神流檜の香り袋(県民センター展示)

コピーとした香り袋の配布はどの会場でも好評で、香りがよい、癒される、新しい森の形、神流町の森へ出かけてみたくなったなどの感想が聞かれ、神流杉、神流檜の知名度アップに大きく貢献しています。ららん藤岡のみちえきマルシェでは初めて香り袋や精油を商品として販売し、購入者のニーズや商品としての手ごたえを感じる機会になりました。

このほか、鯉のぼりまつりやフォレストベース完成記念式典など地元イベントでも活用され、たまたまイベントに参加された漬物のたむらやさん関係者との出会いから、神流杉を使った贈答用の八角折箱（漬物セット）が商品化されるなどの新たな展開を見せています。

「つながる、ひろがる神流の森」をキーワードにいろいろな方との関係性を構築し、その関係性の中から新たな需要が生まれ、地域の方には地元山の魅力を再確認していただき、皆に愛される地域材ブランドが形成されていく、そんな神流町の取組が今後益々発展していくことを期待しています。

(藤岡森林事務所通信員)



たむらやでの八角折箱販売

の便り。

菌床しいたけ生産 施設の空調管理

昨今の地球温暖化により、きのこ生産現場での高温障害防止対策が課題となっており、このため、周年栽培の経営者を中心に、省エネ性能が高いヒートポンプエアコンの、きのこハウスへの導入が進んでいます。今回は菌床しいたけ生産者の、富岡市の横田正幸さんにお話しを伺いました。

横田さんは、しいたけハウスを8棟所有し、全てのハウスが培養と発生を兼ねています。温暖化に伴い夏季のしいたけ生産が困難になったことから、平成27年に新規でヒートポンプエアコンを1台導入し、その後順次導入し現在は3棟に設置され、夏季はこの3棟でしいたけを培養・生産しています。ハウスの外張りが白コート（しろしろコート）なので、ハウス内温度は外気より5℃程度低くなり、しいたけは菌床内温度を30℃以下で維持する必要があるので、夏季は冷房が



室外機と日よけの屋根

欠かせません。夏季の冷房に係る電気料は3台で月30万円程度です。なお、菌床の酸欠防止のためハウスを密閉していません。ヒートポンプエアコンを使用することで、高値傾向にある夏季に高品質のしいたけを出荷でき、電気料を上回る増益となっています。また、周年栽培は年間の労働時間の平準化につながります。



横田さんと培養中の菌床

加温については、従来の灯油を使用した暖房の半分程度の費用とのことです。横田さんは電気設備以外の生産施設の施工は自身で行い、コストダウンを図っています。写真の室外機の屋根も自ら設置し、電気代節減に寄与しています。

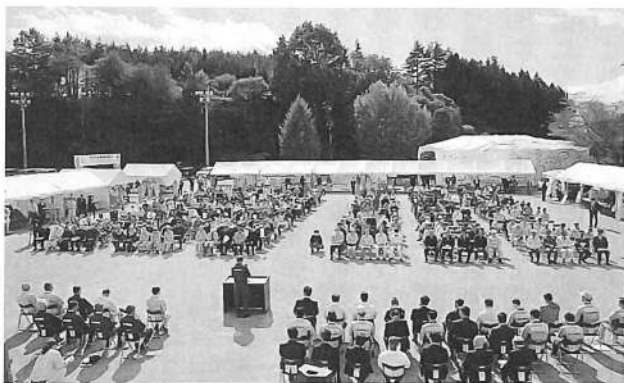
温暖化だけでなく資材費及び光熱費高騰、きのこ価格の低迷などにより、きのこ生産者は苦境に立たされているので、今後も優良事例を調査し生産者に情報提供していきます。※種菌メーカーの(株)北研の資料では、高温障害対策としてしいたけの菌床内温度を30℃以下で維持することとされています。

(富岡森林事務所通信員)

第76回群馬県植樹祭

令和5年10月21日に第76回群馬県植樹祭が「育もう みどりのちから 未来まで」をテーマに吾妻郡中之条町大字五反田(イサマムラ)の会場で行われました。

当日は天候にも恵まれ、約800名が参加。オープニングセレモニーで踊絵師の神田さおりさんのパフォーマンスを鑑賞し、式典が始まりました。式典では、主催者代表として群馬県知事より「森林資源を持続的・効率的に活用する林業県に向けての林業改革、トップランナーを目指した取り組みについて」、また



た「豊かな緑を次世代につなげる未来に向けて」のあいさつがありました。次に開催地の中之条町長より10月9日まで行われた中之条ピエンナーレの紹

介、山林文化と現代アートが融合する中之条町の魅力を交えた歓迎のあいさつがありました。

その後、群馬県緑化功労をはじめとする各種表彰があり、つづいて緑の少年団によるメッセージが読み上げられ、次回開催地の片品村とのリレーセレモニーでは、中之条町から



のケヤキの苗木と、片品村からのシラカバの苗木がそれぞれ交換され式典は無事終了することができました。

式典終了後、隣接する植樹会場に移動し記念植樹が行われ、小花粉スギ苗木の植栽が行われました。

植樹祭終了後には、9月30日に開所式が行われた、中之条町木材活用センターの見学会が催され、自由参加にも関わらず、たくさんの方に参加いただき、中之条町木材活用センターへの関心の高さを感じました。

(吾妻環境森林事務所通信員)

高校生と挑む森林ビジネス

近年、森林保全や森林の持続可能な利用と両立する林産物を用いた「森林ビジネス」に注目が集まっていますが、県として森林ビジネス創出に関わる事例は少ない状況です。一方、当事務所管内には、間伐材等を原料に精油の蒸留を行う事業者が複数おり、その取り組みは林産物を活用した香りビジネスとして県内外から注目されています。

当事務所では、この香りビジネスに着目し、森林ビジネスの成功モデルの一つとしてより一層広めることが、管内における森林ビジネスの発展と森林ビジネスの担い手育成につながると考え、「香りビジネスプロジェクト」を立ち上げました。

本プロジェクトの特徴は、次世代を担う地域の若者と事業者が協同で森林ビジネスに取り組む仕組みとしたこと。具体的には、利根商業高校の生徒に林産物を活用した香りを利用した新たな商品開発を行ってもらい、みなかみ町の事業者Jicca (scenletter株) の長壁さんに生徒への指導・監修を委託する形でプロジェクトを開始しました。

目標は「地域の森林資源を利用した香り」を使用した商品づくりを行うこと。長壁さんから、地域の林産物を活用する意義やコンセ

プトを起点とした商品づくりなど商品開発に関する複数の講義及び蒸留作業などの現場実習を受けた後、班に分かれて商品テーマやコンセプト、ターゲットなどを話し合い、最終的に商品イメージを固めて試作品を制作しました。この試作品は、群馬県庁のGINGHAMで三月に開催された「森のめぐみ展」に出展。多くの来場者に手に取ってもらい、好評を得ました。

今回の取組を通じて、森林資源を活用した多様なビジネスの創出には企業、行政、教育の現場などに広く呼びかけ連携していくことが重要であると改めて感じました。今後も地域の実情に合わせながらビジネス創出・発展につながる仕掛け・仕組み作りを行っていきたいと思います。

(利根沼田森林事務所通信員)



各地の便り

現場安全パトロール

林業現場における労働災害の発生率は全産業の中で最も高く、全体の約十倍となっています。本県においても同様な発生状況であり、特に本年度は三回目となる群馬県林業現場作業の災害・事故多発警報が令和六年三月末までの発令中となっています。当事務所でも警報発令を受け十月下旬から十一月月上旬にかけて、延べ三日間に渡り管内認定事業者を対象とした現場安全パトロールを実施しました。



チェーンソーによる伐木作業

切りをしない、他の作業員の待避を確認し伐倒する、指差し呼称を励行する等を指導しました。また、厚生労働省の定める「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイド

チェーンソーによる伐木造材作業では、チェーンソー取扱作業指導員らの指導のもと木のかかり木の元玉

ライン」の作業従事者への周知を呼びかけました。

林内作業車等による集材作業では、運転時シート

ベルトの着用、傾斜地での走行は特に慎重に指導しました。



林内作業車による集材作業

さらに「リスクアセスメント」や「危険予知活動」の着実な実施を併せて指導しました。事業者からは「切り株の上を足かけチェーンソーを使用したところ、キックバックし転倒しそうになった。足場の悪い場所では作業をしないようにする。」「荷物を持ち斜面を移動中に足が滑り転倒した。傾斜地では特に慎重に歩きたい。」等、作業方法、作業環境の改善に取り組みたいとの声が聞かれました。

今後関係機関と連携し安全対策及び災害・事故防止対策の徹底により、林業労働災害の撲滅を目指していきます。

(桐生森林事務所通信員)

～ 森と緑と笑顔のために ～

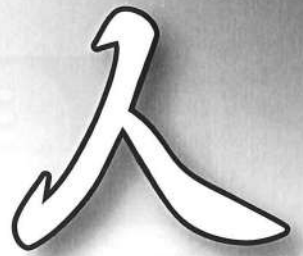
一般財団法人 **群馬県森林・緑整備基金**

〒370-3503 群馬県北群馬郡榛東村大字新井2935

群馬県林業試験場 別館内

TEL 027-386-5901 FAX 027-386-5902

地域を担う



小田原緑化開発株式会社

栗原 遼さん

- 一 趣味 家族旅行
- 二 今後の抱負

事故や怪我無く、次の世代のお手本となるように今後も林業を続けていきたい。



烏川流域森林組合

近藤 顕大さん

- 一 趣味 バイクツーリング、キャンプ
- 二 今後の抱負

・伐倒や重機操作の技術向上を目指します。
・安全第一を心がけます。



株式会社清水インダストリー

西川 剛太郎さん

- 一 趣味 バイクツーリング・釣り
- 二 今後の抱負

F/W研修では多くの知識を取得することができました。基準や規定どおりにやるだけでなく技術者になるのは簡単だが、現場での判断が重要視される林業では技術者のプロ意識が求められると知りました。今回の学習を今後の仕事に活かしていきたいと思います。



A・B・C材全量一括・定額買取システムで
森林組合の集約化施行推進・素材生産量増大を支援!!

JForest

群馬県森林組合連合会
代表理事会長 八木原 勇治

本所 前橋市上大島町182-20 ☎ (027)261-0615(代)
渋川県産材センター
渋川市白井乙佐又1236-4 ☎ (0279)22-5000(代)

森の談話室

有限会社榎原愛林

取締役 堀川正一郎さん

多野郡上野村榎原で素材生産等行っている林業事業体の有限会社榎原愛林を紹介いたします。

有限会社榎原愛林は、昭和36年に現取締役の堀川正一郎さんのお父様が区長の時、地元愛林組合という任意団体で発足しました。当時の組合員は20人程で、作業内容は造林や下刈りが中心の林業事業体でした。その後名称を榎原愛林に変え、昭和52年に法人化し、有限会社榎原愛林（以下榎原愛林）となったとのこと。

現在の榎原愛林の社員は事務員2名、現場作業員は7名であり、堀川取締役は、林業従事者育成にも力を入れています。施工地としては、上野村、神流町の民有林、国有林を中心に間伐等の森林整備を行っており、年間の素材生産量は5、000㎡前後となっています。特に急傾斜地での架線を利用しての木材搬出に高い技術を持っています。

堀川取締役によると、かつて上野村、神流町（旧万場町、旧中里村）地区には、榎原愛林のような地区で構成する林業事業体が10社程度あったとのことですが、今残っているのは、榎原愛林のみとのこと。労働者不足

と後継者がいないのが一番の理由ではないかと堀川取締役はおっしゃっていました。

ところで、榎原愛林の後継者はと堀川取締役に尋ねたところ、息子さんで専務取締役の和久さん43才があとを継ぐことになっているとうれしそうに話してくれました。

次に堀川取締役に林業の労働安全で心掛けていることをききました。

堀川取締役はやってはいけないことをやらないことが一番であるが、特に接近作業をやるらないことや周囲をよく確認することだとのこと。また、それができるのも日頃の体調管理が大切だとおっしゃっていました。

最後にお忙しいところ「森の談話室」の取材に御協力いただきました榎原愛林堀川取締役始め、関係者の皆様に感謝するとともに榎原愛林がますます発展することお祈り申し上げます。

（藤岡森林事務所通信員）



堀川取締役



安全パトロールの様子

防 鹿 柵 の 管 理 手 法

当場では、防鹿柵の適切な維持管理を目指し、人が通行できる「管理道」の設置手法を試験しています。具体的には、除草剤を使用して防鹿柵の視認性を確保しつつ、ネットの補修点検を行うために柵沿いに管理道を設置します。これにより、防鹿柵の防除効果を高い状態で維持し、シカが侵入した場合にも早期に侵入箇所を発見できる技術とすることが目的です。

本手法では、次のとおり年1回の作業で簡易に管理道を設置することを提案します。

使用薬剤…グリホサートカリウム塩液剤

(例…ラウンドアップマックスロード)

使用薬量…180 ml / 100 m

(50倍希釈…水9ℓ)

作業時期…7月下旬～8月に1回/年

散布場所…柵内側18mの柵沿い内周全面

主な作業のポイント…

- ①草丈の高い植物やネットに巻いたつる性植物にも、葉に満遍なく薬剤を散布すること
- ②柵設置(地拵え)から1年以内に管理を開始すること
- ③適切な時期に散布すること

防鹿柵は、ネットが破損するとシカが侵入し植栽木が被害されるため、定期的な維持管理が必要です。下草の除草は、防鹿柵管理に

おける課題の一つです。柵周辺に下草が繁茂すると、シカの侵入を発見できなくなったり、巻き付いたつる性植物の重さでネットが垂れ下がったりします。しかし、刈払機で除草する場合、ネットを誤って切断したり、巻き込んだりするなど、作業に危険が伴います。

本手法では、除草剤を使用することで安全に柵沿いの管理道を設置できます。適切に作業することで、長期間抑制効果が持続することもメリットです。

なお、柵設置後2年以上経過し柵が草に覆われてしまった現場では、2年目以降の木本植物やつる性植物は手刈りなどで除去する必要があります。その理由は、木本・つる性植物に対しては、除草剤では2年目以降の幹や枝を抑制できないことがあるからです。また、ササ類が優占する造林地の場合は、薬剤に塩素酸塩粒剤(例…デゾレートAZ粒剤)を選択することも有効です。

作業時期については、初夏以前に散布した場合、夏から繁茂する植物への抑制効果が薄くなるため、年2回の散布が必要になることがある点に注意してください。

防鹿柵を使用している現場においては、本手法の一つの選択肢としてご検討いただければ幸いです。

(林業試験場 企画・自然環境係)



図2 本手法で設置した柵の管理道



図1 つる性植物が巻きついた柵

トピックス

令和5年度ぐんま林業就業支援 研修(冬コース)を開催しました

群馬県は、県土面積の約3分の2を森林が占めており、関東一の森林面積を有する森林県です。また、民有林の約半分が人工林であり、高齢級の森林が増加し、森林資源も充実しています。健全な森林を未来に引き継いでいくためには、豊かな森林資源を利用することが求められます。

一方で、群馬県の林業従事者数は近年、減少傾向になっており、新規就業者の確保が必要となっています。

林業振興

課では、令和6年1月22日(月)～2月2日(金)の10日間、ぐんま林業就業支援研修冬コースを開催しました。

本研修は、新たに県内の林業



伐倒練習機でのチェーンソー伐倒練習



インターンシップでの目立指導

事業者等へ就業を希望する方に対し、チェーンソーや刈払機の安全教育、伐倒練習、インターンシップ、フォレストワーカーとの意見交換会を行い、就業準備や森林作業に対する適性の確認などを行っていただくことを目的として開催しています。

今回の研修には、7名の受講者が参加し、全員が無事に研修を修了しました。受講者の中には、12月に開催した森林の仕事ガイダンス(群馬会場)にご来場いただき、受講に繋がった方もいらっしゃいました。

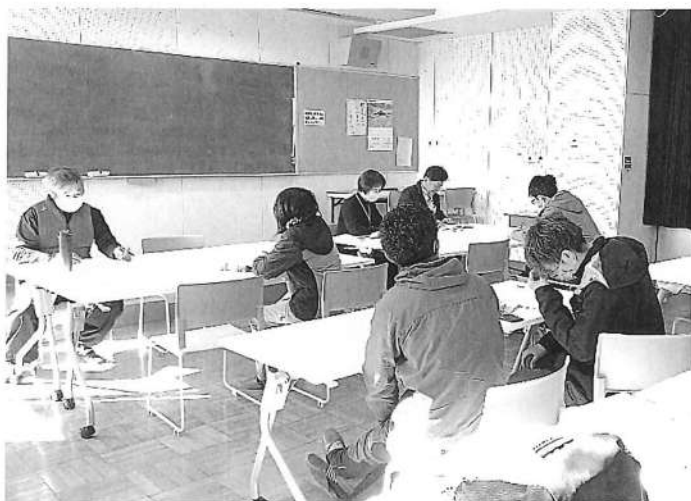
研修では伐倒練習機を用いたチェーンソーでの伐倒練習を行ったほか、群馬県内の林業事業者での3日間のインターンシップも開催し、林業の実際の仕事の様子や職場の雰囲気などを感じていただきました。

最終日の就業相談会では、3名の受講者が

就職の意を示し、就業へ向けての相談を行いました。

受講者の方からは、「危険が伴う仕事なので厳しい雰囲気職場かと思ったが、いい雰囲気であると感じた」、「林業を知っていく中でチェーンソーの難しさや体力の足りなさを実感した。体力が足りない中でも乗り越えていこうと思う気持ちが強くなり、林業に挑戦したい気持ちが強くなった」などの感想をいただきました。

今回の修了生の中から、群馬県の林業を担う人材が誕生することを期待しています。



就業相談会での面接



「緑の募金」に

ご協力ください！

森林や緑は、おいしい水やきれいな空気を供給し、地球温暖化を防止するなど私たちの生活に多くの恵みをもたらします。その恩恵は、現在の私たちだけでなく未来の子どもたちにもおよびます。「緑の募金」を通じて、森林や緑づくりに協力することは、将来の世代に豊かな地球環境を残すことにつながります。

当委員会では、4月1日から5月31日までの春の新緑シーズンと、9月1日から10月31日までの秋の紅葉シーズンを中心に緑の募金活動を実施いたします。

緑豊かな「ふるさと群馬」を守り続けるため、皆様のご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人群馬県緑化推進委員会

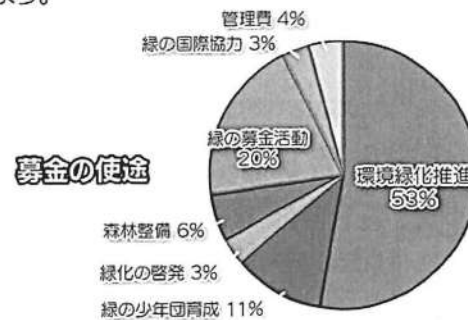
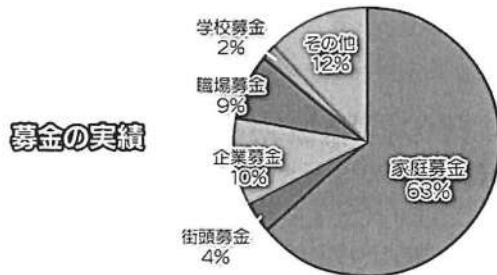
会長 山本 一太
理事長 八木原 勇治

令和5年度緑の募金実績と使途

令和5年度の緑の募金額は、総額 31,592,117 円 となりました。

この尊い募金は、小中学校や公園等の身近な環境緑化をはじめ、緑の少年団の育成、緑の国際協力などの多くの事業に役立たせていただいております。

県民の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。



令和6年度緑の募金の目標額 **32,000,000円**

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会

TEL : 027-280-6257

FAX : 027-255-6265

〒371-0854 前橋市大渡町一丁目 10-7 (県公社総合ビル) URL <http://www.g-sinrin.jp/>

税制上の優遇措置 個人の場合：所得税の所得控除及び個人住民税(地方自治体の条例で指定されている場合)の税額控除が可能です。

法人の場合：算定金額までの損金算入が可能です。

令和6年度緑化運動標語

守りたい

この木この森この自然

(館林市立第四中学校2年 大下 琉叶さん)

信頼に誠意と技術でこたえる

総合建設業



TAKAHASHI

高橋建設株式会社

代表取締役社長 高橋 鎮 男

本 社 / 高崎市箕郷町西明屋441 ☎027(371)2007(代)

総合建設業

東光建設株式会社

代表取締役 竹内 猶則

吾妻郡長野原町大字横壁501-1

☎(0279)82-3355 FAX(0279)82-2721

リスク知り リスクに備え 安全作業



林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部

〒 379-2131 前橋市西善町 524-1

電話 : 027-266-8220

<http://www.gunma-wood.com/>



緑の募金で

緑豊かな ふるさと ぐんま

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会

前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル内

☎ 027(280)6257

URL : <http://www.g-sinrin.jp/>

表紙の写真

第七十六回群馬県植樹祭 令和五年十月二十一日 吾妻郡中之条町大字五反田
「イサマムラ(旧中之条町立伊参小学校)」にて 山本知事と中之条小学校緑の少年団が少花粉スギを植樹